

2020年5月24日 返子協会 バガヴァッド・ギーター講座 - 2
＜テーマ：トリ・グナ＞

＜トリ・グナについて＞ (tri : 3 guṇa : 性質)

*前回の講座 (第1回 : 4/23) のテキストから、トリ・グナについての補足説明

サットワ (純質) : 純粹、慈悲、普遍的な愛、調和的、シンプル、非利己的、謙虚、完全、清らか、バランスがとれていて静か、幸せ、全部良い性質。

ラジャス (激質) : いつも動いていて落ち着かない (←サットワと反対)、働きすぎ、利己的、嫉妬、野心。

タマス (暗質) : 動かない (←例えば瞑想のとき、サットワは集中して動かないが、タマスは寝ていて動かない)、なまけもの、鈍い、暗やみ、悲しみ、ぐずぐずする、動物的、幻惑。

トリ・グナは最初、インドで1番古いサーンキヤ哲学の宇宙論の中で説明されました。

トリ・グナを勉強する理由

- ・トリ・グナは、自分の生活、インド聖典の勉強、悟りに関係する大事な基礎だから。
- ・トリ・グナの影響で、今の私たちの理想的でない状態 (たとえば、苦しみ悲しみ、鈍い、働き過ぎ、束縛) が出ているから。
- ・どうすれば今の大変な状態から永遠の幸せ (悟り) を得られるか？
それを理解するためにトリ・グナの勉強が必要だから。

＜サーンキヤ哲学の宇宙論＞ *ここから今月の勉強

宇宙はどのようにしてあらわれたのか？

—宇宙の源は、2つの原理、「プルシャ」と「プラクリティ」。

プラクリティの中に、プラクリティをあわせて、宇宙論的な24原理がある。

普通インド哲学では、宇宙の関係、個人的な関係で、24原理で言う。

24原理はサンスクリット語で、チャトゥル・ヴィムシャティ・タットヴァと言う。

(catur : 4 vimśati : 20 tattva : 真理)

プルシャとプラクリティについて

- ・プルシャ (puruṣa) : 純粹な意識、無執着で何とも同一しない存在、性質も形も仕事もない。
- ・プラクリティ (prakṛti) : 物質で性質がある、意識がない、最初の状態はアッヴィヤクタ (あらわれていない)、トリ・グナで出来ている。※前回 (4/23) のテキスト参照。

宇宙があらわれる前の状態

動かないプルシャと、動けないプラクリティが、最初は離れている。

プラクリティのトリ・グナは、バランスが取れているので動かず、混ざってもいない。

宇宙があらわれる原因

プルシャとプラクリティが近づくと、プラクリティのトリ・グナはバランスが崩れて混ざって動きだし、プラクリティから宇宙のプロセスが始まる。

つまり「プルシャとプラクリティが近づくと、プルシャの存在のもとでプラクリティが動く」という事。

—これについて説明した たとえ話。

①サーンキヤの考えでは、プルシャは1つではなく、たくさんある。

その「プルシャの見えないカルマの影響で、プラクリティが動いている」というたとえ。

②目は見えるけれど歩けないプルシャと、目は見えないけれど歩けるプラクリティが、

あるとき森に入った。お互い一人では進むことができないが、森を出るために、

プラクリティが、歩けないプルシャをおんぶして、目の見えるプルシャが道を教えて進んだ

—というたとえ。

③子牛と母牛が近づくと母牛の乳房から自然にミルクが出るように、

プルシャとプラクリティが近づくと、プラクリティから自然に宇宙が出る—というたとえ。

<宇宙があらわれる仕組み> *PDF「サーンキヤ哲学の宇宙論（日本語）」をご覧ください

まずプラクリティから、トリ・グナを基礎として、たくさんの原理が宇宙的なレベルであらわれる。

プラクリティから、マハット（知性）、次にアハムカーラ（自我）があらわれ、次に

マナス（心）とパンチャ・ギャーネンドリヤ（5つの認識器官）と

パンチャ・カルメンドリヤ（5つの行動器官）があらわれ、

パンチャ・タンマートラ（5つの精妙な要素）から

パンチャ・マハー・ブータ（5つの偉大な要素）があらわれる。

このように、プラクリティから、パンチャ・マハー・ブータまでを数えると「24原理」。

*パンチャ=5

- ・宇宙的な「心」「5つの認識器官」「5つの行動器官」は
→宇宙的な自我のサットワ的な部分を主にして出来ている。
- ・宇宙的な「5つの精妙な要素」「5つの偉大な要素」は
→宇宙的な自我のラジャス的な部分を主にして出来ている。

次に、トリ・グナを基礎として、個人的なレベルであらわれる。

宇宙的な「5つの偉大な要素（空、風、火、水、地 *2）」から、すべての物と生き物（人間、動物、海、山、樹など）がつくられ、それぞれに宇宙的な「5つの偉大な要素」が異なる割合で入っている。

*2…「空風火水地」は、サンスクリット語で「アーカーシャ、ヴァーユ、アグニ、ジャーラ、クシーティ」、きれいな言葉では「ヴィヨーマ、マルトゥ、テージャス、アプ、クシティ」、下から「クッシャパテージャマルトゥヴィヨーマ」と言うこともある。
また、「5つの精妙な要素：空風火水地」と「5つの偉大な要素：空風火水地」の違いは、前回（4/23）のテキスト参照。

<人の中で、トリ・グナはどのように影響しているのか？>

人にも、プルシャ（ヴェーダーンタではアートマン、魂）とプラクリティがある。

- プラクリティの、自我 (ahaṁkāra)、知性 (buddhi)、記憶 (citta)、心 (manas) と、5つの認識器官（耳、皮膚、眼、舌、鼻）は、宇宙的な「5つの偉大な要素」の サットワ的な部分をメインにして出来ている。
感覚は外に向くようにインプットして作られているので、私たちが「外のものを聞きたい、見たい」と思うのは自然なこと。
霊的な実践をして悟りたいなら、感覚を外から中に引き戻して抑制が必要。
- 5つの行動器官（発声器官、手、足、排泄器官、生殖器官）と、5つのプラーナ（生命エネルギー／prāṇa, apāṇa, vyāna, samāna, udāna）は、宇宙的な「5つの偉大な要素」の ラジャス的な部分をメインにして出来ているので、子供が外に出たがったり、私たちが「話したい、動きたい」と思うのは自然なこと。
霊的な実践をして悟りたいなら、その感覚も外から中に引き戻して抑制が必要。
- 粗大なからだ（肉体）は、宇宙的な「5つの偉大な要素」の タマス的な部分をメインにして出来ているので、疲れるとすぐ「休みたい、寝たい」。

例えば、粗大なからだより精妙な目の感覚、目の感覚より精妙な心の方が、速く遠くに届くように、粗大なものは、精妙なものに比べて、力の範囲が限られている。

苦しみ悲しみの原因を考えるより、プルシャとプラクリティとの同一を切って、プルシャの本性を悟る実践に集中する。

- サーンキヤ哲学の考えでは、私たちの苦しみ悲しみ、幻惑、束縛の源は、「プルシャが無知の影響でプラクリティのトリ・グナを同一しているからだ」と考える。
つまりプルシャは催眠にかかった様な状態なので、自分の本性を学びたくない。
本来、自由で無執着で至福であるはずのプルシャが、いつからプラクリティを同一したのか？
そのことを考えるより、同一を切ることに集中する方が大事。

生きる時間は限られているので、哲学の議論と勉強だけで終わらない様、実践して悟るべき。

- ・お釈迦様の言葉・・・「苦しみ悲しみの原因を考えないで、取り除くことに集中して下さい」。
- ・シュリー・ラーマクリシュナの言葉・・・「マンゴーの庭に入ったら木や葉っぱを数えないでマンゴーを食べることに集中して下さい」。

神聖か世俗的、知識か無知、対象を決めて、感覚をコントロールして下さい。

私たちの存在はトリ・グナで出来ているので、その影響に抵抗することは簡単ではない。

グナの影響を終わらせるためには、感覚の対象を選ぶ必要がある。

対象が神聖なら結果も神聖、対象が世俗的なら結果も世俗的になる。

プラクリティは、最初は甘く結果が苦いプレーヤス (preyas : 快い) と、最初は苦くて結果が甘いシュレーヤス (śreyas : 幸福な) を、いつもあなたの前に提示している。

どちらを選ぶかは、人の責任でなく、私たちの選択。

つまり私たちが困っている状態というのは、プラクリティのせいではない。

また、プラクリティのマーヤーには、vidyā (正しい知識) と、avidyā (無知) があるが、

私たちはいつも、甘くて楽しくて面白く見える方を選び、最終的に困っている。

プラクリティは、私たちに本性を教えたいという、慈悲をもっているお母さん。

肯定的に考えると、プラクリティは、私たちに本性を教えたいという、慈悲をもっているお母さん。

1つの考え方として、大変な状況というのは、プラクリティという自然からの大きなメッセージ。

大変な状況を繰り返さないよう、サットワも金の鎖なので、超越して下さい。

聖典で学んだ通りの、正しい道に従っている人はとても少なく、ほとんどの人が、何回大変な状況で困っても、自分のやり方を変えたくないの、何回も生まれ変わって学ぶ。

今深い考えが出て、「仕事も遊びもコントロールして、ライフ・スタイルを変えたい」と望んでも、またすぐ忘れてしまう。

このように私たちは、一時的に良い性質のサットワが増えても、またサットワからラジャス、ラジャスからタマスの状態というように墮落してしまう。

しかしサットワもプルシャの金の鎖なので、超越しなければいけない。

トリ・グナが、どのように私たちに束縛し、どの性質が増えるとどのような印が出て、どのように超越したら良いか、次回はバガヴァッド・ギーターで勉強。

【Q&A】

Q：受講生「私の目や耳のことでしたら分かりますが、宇宙的な器官とは？」

A：マハーラージ「聖典で言っていることなので、とても精妙で、今の我々の知性と心でそのイメージの理解は難しいですが、サマーディーに入ったら理解できるかもしれないです」 以上